

令和6年度 公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

当法人の目的である“ふくしまの未来を担う青少年の健やかな成長と、女性も男性も個人として尊重され、互いに支えあい、共に責任を担う社会づくり”を目指して、法人経営計画及び年度事業計画に基づき事業を行ってまいりました。

また、福島県青少年会館及び福島県男女共生センターそれぞれが、施設の効率的・効果的な運用に努め、設立趣旨に沿った事業を積極的に展開するとともに、相互に連携しながら運営の充実に努めてまいりました。

さらに、公益財団法人としての使命や役割を踏まえ、より一層公益性を高めた運営に努めてまいりました。

1. 評議員会に関する事項

回	期 日	審 議 事 項	結果
臨 時	令和6年 4月26日	議案第1号 評議員の辞任に伴う補欠選任について 書面決議（一般社団・財団法人法第194条による）	可決
定時(第 1回)	令和6年 6月13日	議案第1号 令和5年度事業報告について 議案第2号 令和5年度収支決算について	可決 可決
第2回	令和7年 1月29日	議案第1号 福島県青少年会館の運営について（説明）	—
第3回	令和7年 3月27日	議案第1号 令和6年度収支補正予算について 議案第2号 令和7年度事業計画について 議案第3号 令和7年度収支予算について 議案第4号 資金調達及び設備投資の見込みについて	可決 可決 可決 可決

2. 理事会に関する事項

回	期 日	審 議 事 項	結果
臨 時	令和6年 4月17日	議案第1号 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について 書面決議（一般社団・財団法人法第96条による）	可決
第1回	令和6年 5月28日	議案第1号 令和5年度事業報告について 議案第2号 令和5年度収支決算について 議案第3号 令和6年度定時評議員会の開催について	可決 可決 可決
第2回	令和7年 1月29日	議案第1号 福島県青少年会館の運営について 議案第2号 令和6年度第2回評議員会の開催について	可決 可決

第3回	令和7年 3月12日	議案第1号 令和6年度収支補正予算について	可決
		議案第2号 令和7年度事業計画について	可決
		議案第3号 令和7年度収支予算について	可決
		議案第4号 資金調達及び設備投資の見込みについて	可決

3. その他の事項

期 日	事 項
令和6年 5月17日	令和5年度会計及び業務執行状況の監査執行
令和6年 5月8日	令和6年度第1回法人経営会議 (1) 令和5年度事業報告（法人・会館、共生センター）案について (2) 令和5年度収支決算（法人・会館、共生センター）案について
令和6年 8月6日	令和6年度第2回法人経営会議 (1) 令和6年度事業（事業報告・収支決算）の課題について (2) 二館の今年度経営概況（令和6年6月末日現在）について
令和6年 11月12日	令和6年度第3回法人経営会議 (1) 令和6年度上半期の経営状況について
令和7年 3月5日	令和6年度第4回法人経営会議 (1) 令和6年度第3回理事会等提出議案（事業計画・収支予算等）について (2) 青少年会館の今後の運営について

令和6年度 事業実績報告書

“ふくしまの未来を担う青少年の健やかな成長と、女性も男性も個人として尊重され、互いに支えあい、共に責任を担う社会づくり”への貢献をモットーに、「法人経営計画」に沿って各種事業に取り組みました。

また、公益財団法人としての役割と責務を十分に踏まえるとともに、福島県の施策との関連性の維持、深化を図り、活動拠点である福島県青少年会館と福島県男女共生センター間の連携を強化しながら、公益性を一層高めた法人運営に努めました。

さらに、震災・原発事故からの復興に向けた様々な取り組みが進められる中で、当法人としても、復興に寄与するよう努めました。

◎ 福島県青少年会館の主な事業

令和6年度の青少年会館の運営については、施設・設備の老朽化が進んでいることを踏まえ、予算の範囲内で修繕・更新を行いながら、研修室や体育館の利用促進に努めました。

青少年の育成については、青少年団体等と連携しながらイベントを実施するなど、子ども・若者の健やかな育成のための活動に取り組んだほか、会館の情報ステーションや2階ロビーなどを活用し、情報発信を行いました。

また、福島県からの委託により運営している「ふくしま結婚・子育て応援センター」については、結婚マッチングシステム「はぴ福なび」の運用を始めとする事業内容の充実を図り、県内企業、団体等からの御支援・御協力をいただきながら、若者・子育て世代への幅広いサポート活動を展開しました。

以上のようなソフト・ハード両面にわたる事業を着実に実施しながら、職員一丸となって安定的経営に努めました。

なお、当館は昭和54年の開館以来、青少年活動の拠点として多くの方々に御利用いただいてきましたが、令和7年1月31日に福島県と覚書を取り交わし、令和8年6月をもって閉館し、令和9年9月末までに解体することとなりました。

1 青少年会館管理運営事業

(1) 経営計画の着実な実行

「公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構経営計画（令和5年度～令和9年度）」に沿って、当館に求められる使命と役割、施設の安全・安心の確保、経営の安定化に向けた財源確保などの諸課題を踏まえながら、計画目標の着実な達成を目指して努力しました。

令和6年度収支差額は、経営計画ではマイナス3,082千円と見込んでいましたが、研修室の利用が好調だったことなどにより、決算では10,677千円のプラスとなりました。

(2) 施設利用の促進

駐車場の区画線補修や研修室の鍵の更新を行うなど、利用しやすい環境づくりに努め、施設の稼働率向上を図りました。

また、ホームページやリーフレット等を活用して当館の機能や利便性を広くPRするとともに、地域の事業所や施設等との連携、協力関係の構築に努め、施設利用を促進しました。

(3) 業務の見直しによる経費の節減等

サービスの維持・向上に配慮しながら、経費の節減に向け、業務全般にわたり不断の見直しを行いました。

特に、施設・設備の保守管理や修繕については、可能な限り職員が対応し、経費の節減に努めました。

(4) 施設・設備の維持補修

令和6年度は体育館バルコニーシートの補修やレストランの電気配線更新などを、県からの補助を受けて計画的に実施したほか、体育館の防球ネット修繕や研修室・体育館の換気扇交換など、突発的な不具合に適宜対応しました。

財源は県からの修繕補助金が9,174千円、会館の独自財源が1,420千円となりました。

2 福島県青少年育成県民会議連携事業

(1) ふくしま青少年育成セミナー

青少年を取り巻く社会環境の変化や、本県の青少年が抱える様々な課題や困難について理解を深めるとともに、青少年と向き合う大人や親の心構えや姿勢などについて考えるためのセミナーを、福島県青少年育成県民会議と共催で実施しました。

対 象 者	① 現在子育て中の方や、青少年の育成に関心のある方 ② 青少年育成団体やPTA、地域団体の指導者など
主 な 内 容	第1回 日 時 令和6年6月29日(土) テーマ 「不登校と社会的ひきこもり」 講 師 福島学院大学大学院心理学研究科教授 佐藤 佑貴 氏 参加者 64名 第2回 日 時 令和6年9月21日(土) テーマ 「災害後やコロナ流行後のこころの調整法」 講 師 福島県立医科大学災害こころの医学講座准教授 瀬藤 乃理子 氏 参加者 44名

(2) 各種大会等への運営協力

福島県青少年育成県民会議が主催する「少年の主張福島県大会」及び「福島県青少年健全育成推進大会」の運営に協力したほか、「家庭の日」作文、絵画・ポスターコンクール作品の審査、副賞提供、優秀作品の掲示などで協力しました。

3 情報収集、提供事業

(1) ホームページ利活用促進事業

当館が実施する各種事業を始め、青少年健全育成活動や青少年の社会参加活動に関する情報を提供するとともに、当館施設の利用促進に向けて、ホームページによる情報発信を行いました。

主な内容	① ホームページの管理・運営 ② 法人組織や事業計画、事業報告等の公表 ③ 青少年育成事業の紹介や参加呼びかけ ④ 青少年会館の施設紹介と利用呼びかけ、予約空き状況案内
------	---

(2) 青少年情報ステーション事業

当館が実施する各種事業や、青少年健全育成活動、青少年の社会参加活動に関する情報を提供しました。

主な内容	① 青少年に関する各種情報や資料の収集 ② 資料の展示や掲示、配布 ③ 県内市町村や関係機関との連携
------	--

(3) 青少年育成活動の企画支援及び指導者等紹介あっせん事業

青少年の健全育成に取り組む各種団体が開催する地域活動、青少年の研修活動、レクリエーション活動などに対し、福島県青少年育成県民会議など関係機関・団体と連携して企画・運営に関するノウハウの提供、会場や講師・指導者の紹介、あっせんなどを行いました。

4 青少年健全育成事業

(1) 「夏の思い出」ものづくり体験事業

県を代表する伝統工芸品の一つ「会津本郷焼」窯元の陶芸家を指導者に迎え、主に小学校高学年を対象に、小皿や茶碗等を作る陶芸教室を開催しました。

この事業は、地域の伝統に触れながら、「ものづくり」の作業をとおして、製作過程の課題解決や、作品完成時の達成感を体験してもらうものです。

参加者	小学生（４年以上）及び中学生 １８名
主な内容	指導者：会津本郷焼 宗像窯 9代目 宗像利訓 ^{としのり} 氏 会場：福島県青少年会館 期 日：令和６年７月２０日（土）

(2) 福島っ子ガンバレ・レクリエーション普及事業

レクリエーション活動をととして世代間交流の機会を提供するとともに、子どもたちに「元気と笑顔」を届けるためのイベントを開催しました。

参加者同士の交流と親睦を深めるため、誰もが楽しめる知的卓上ゲーム「マンカラ」の講習会と競技会を組み合わせ、福島県レクリエーション協会との共催で実施しました。

参 加 者	小中学生：44名 一般：33名
主 な 内 容	① マンカラ競技の講習会 ② マンカラ交流選手権大会 会 場：福島県青少年会館 期 日：令和7年3月1日（土）

(3) 青少年活動支援事業

① 青少年育成活動助成事業

青少年の健全育成を目的として、当館施設を利用した社会体験活動、自然体験活動などのプログラムに取り組む団体を対象に、活動経費の一部を助成し、当該団体による青少年健全育成活動を支援するものです。

対 象 者	当館を利用する子ども会、各種青少年団体、 青少年関係NPOなど
主 な 内 容	① 助成を希望する団体を公募しその適格を審査。 ② 活動内容を精査の上、予算の範囲内で規定に沿って助成。

令和6年度は助成実績がありませんでした。

② 「成果発表・作品展示」支援事業

青少年が自ら活動している団体や、青少年の健全育成に取り組んでいる団体の活動成果を発表する場として、当館のロビーや研修室、ピロティなどを提供する事業です。絵画や書道等の作品を展示するためのスペースを無償で提供しました。

対 象 者	学校のクラブ活動、地区子ども会、地域や職場のサークルなどの 青少年団体及び青少年健全育成を推進している団体 (営利活動、政治活動、宗教活動等を目的とする団体は除く。)
主 な 内 容	青少年が制作した様々な作品の展示スペースを青少年会館内に 用意して提供することで、来館者を始めとする多くの方に作品を紹介するとともに、青少年の更なる制作活動を促進。

③ 青少年会館ボランティア団体活動支援事業

当館が実施する事業などにボランティアとして参加・協力できる団体を対象に、青少年育成等の活動を支援するものです。

令和6年度は該当ありませんでした。

(4) 関係団体連携強化事業

当館を利用して研修や合宿を実施する団体のプログラムが効果的・効率的に運営できるよう支援するとともに、当館に入居している青少年関係団体等の活動を促進するよう努めました。

① 当館の施設を利用する団体

当館を利用する団体が、利用目的を達成できるよう可能な限り協力、支援し、それぞれのプログラム等が円滑に進められるよう努めました。

② 各種青少年関連団体等

当館施設建設運動を主導した福島県青少年団体連絡協議会を始め、当館の入居団体（ボーイスカウト福島連盟、ガールスカウト福島県連盟、福島県PTA連合会、福島県高等学校PTA連合会、NPO法人福島県レクリエーション協会）、青少年活動に関係する団体、施設、法人等と連携を深め、これらの団体等の取組に対して積極的に共催や後援を行うとともに、各団体等が行うイベントの告知や参加者募集、活動紹介等について、情報コーナーへの掲示などにより支援しました。

5 ふくしま結婚・子育て応援センター運営事業

結婚を望む人が結婚でき、誰もが安心して子どもを生み育てることのできる環境を整備するため、福島県からの委託を受け、ふくしま結婚・子育て応援センターを運営し、結婚から子育てまでを支援する様々な事業に取り組みました。

(1) 相談業務

「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」に関する相談員を配置し、電話・面談・メールにより相談に応じるほか、必要に応じて関係専門機関と連携を図りながら対応しました。

その他、「はぴ福なび」システム及び世話やき人に関する問合せ等は、センター職員が随時対応しました。

対 象 者	一般県民
主な内容	1. 結婚から子育てまで各段階に対応し、面接による直接相談と電話、メールでの相談 2. 妊娠・出産、子育てに関しては、関係専門機関と連携を図りながら対応 「結婚」相談 世話やき人が担当 「妊娠・出産」、「子育て」相談 . . 保育士等の資格のある世話やき人及び福島県助産師会が担当 3. 相談日 結婚分野 木・土曜日 妊娠、出産分野 . . . 火曜日 子育て分野 木曜日

	4. 相談利用件数	2, 597件	
	うち、結婚分野	2, 380件	
	妊娠・出産分野	211件	
	子育て分野	6件	
	5. 子育てファミリーへの支援		
	① 親子のひろば（ベビー）	47回開催	197組
	うち、ベビーマッサージ	12回開催	83組
	うち、リフレッシュ体操	12回開催	49組
	上記以外	23回開催	65組

(2) 「世話やき人」の養成及び市町村との業務連携

「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」について助けを必要とする方々を支援するため、様々な支援をボランティア活動で行う「世話やき人」を養成しそのスキルアップを図るため、研修会や情報交換会を開催しました。

また、地域に根ざした結婚支援網の強化に向けて、市町村の結婚ボランティアとの連携に努めました。

対 象 者	一般県民	
主 な 内 容	① 人材の掘り起こしと登録の促進	
	② 「世話やき人」の養成	
	③ 世話やき人登録者数	1 0 1 人（令和7年3月31日現在）
	世話やき人延べ人数	1 2 0 人
	うち結婚分野	9 3 人
	妊娠・出産分野	7 人
	子育て分野	2 0 人
	④ 関係実績（令和7年3月31日現在）	
	世話やき人による成婚数	2 1 組（累計2 1 9 組）
	世話やき人研修会	6 回実施
	世話やき人情報交換会	6 回実施
うち世話やき人と市町村の結婚ボランティアとの情報交換会	5 回実施	

(3) ふくしま結婚サポーター企業との連携強化

社会全体で結婚を希望する独身男女の出会い等を応援するため、結婚支援の取組を推進する企業や団体等（以下、「ふくしま結婚サポーター企業」という。）に対して、応援センター事業等を周知し、連携を深めました。

対 象 者	ふくしま結婚サポーター企業
主 な 内 容	既登録済企業への情報提供回数 18回

(4) 婚活イベントの開催

結婚を希望する県民へ多様な出会いの機会を提供するとともに、独身男女や結婚支援ボランティア、市町村の結婚支援担当者を対象としたセミナーを開催しました。

また、市町村との合同開催による婚活イベントを開催しました。

対 象 者	一般県民
主な内容	① 婚活イベント（セミナー・交流会等）の開催 18回開催、参加者数 384人
	② オンライン婚活交流会・セミナーの開催 12回開催、参加者数 106人
	③ 市町村との合同イベントの開催 8市町村
	④ 「婚活イベント会員制度」の運用 会員周知7回

(5) ふくしま結婚マッチングシステム「はぴ福なび」の運営

平成29年2月に導入した「はぴ福なび」の登録会員を募集し、結婚を希望する男女に対して個別の出会いの機会をサポートしました。

また、Web 広告等の活用により「はぴ福なび」の一層の周知を図るとともに、会員への活動サポートを強化し、登録者の拡大、成婚率のアップに努めました。

対 象 者	一般県民
主 な 内 容	① システムの管理・運営 ② システム登録会員の募集及び出張登録会の開催 ③ システム登録会員のフォローアップ ・ 会員限定の交流会やセミナーの開催 ・ 世話やき人によるアドバイスの実施 ④ W e b 広告等による広報活動 ⑤ 会員向け活動サポート動画の配信 ⑥ 会員優待イベント「はぴフェス2025」の開催 ⑦ 関係実績 登録会員数（令和7年3月31日現在） 1, 3 5 4 人 紹介数 3 7, 5 9 3 人（累計 306,465人） お見合成立数 1, 2 3 2 人（累計 10,654人） 成婚退会者数 3 0 人（累計 424人） 出張登録会（県内各方部で）4 0 回

(6) 市町村へのスーパーバイザー等派遣事業

市町村の婚活支援事業の取組に対して、スーパーバイザー・世話やき人等を

派遣して結婚支援に関する助言を行うほか、複数の市町村が連携して取り組む広域的な婚活事業等への展開を支援しました。

対 象 者	市町村
主な内容	① 市町村等訪問事業 各地方振興局及び関係市町村を訪問し、意見交換、情報収集に努めた。 ② 市町村が取り組む婚活支援事業への支援、助言等 イベント企画、対策協議会等への参画 ① + ② 年間活動実績 延べ39回

(7) ふくしま育パパセミナーの開催

安心して出産・子育てできる環境づくりを推進するため、プレパパ及び子育て中の男性を対象としたセミナーを開催し、男性の積極的な家事・育児参画を後押ししました。

対 象 者	一般県民
主な内容	① プレパパ、子育て中の男性等を対象としたセミナー ② セミナーの開催と併せた相談会 対面式5回、オンライン1回の計6回開催 参加者数 92家族 198人

(8) 「結婚・子育て」支援に関する情報発信・提供

公式サイトによる情報発信を始め、SNSを活用しタイムリーかつ積極的な情報発信に取り組むほか、当館2階に専用の「情報コーナー」を設置し、県内における結婚から子育てまでにに関する様々な情報を提供しました。

福島県青少年会館利用状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

1. 研修室

室 名	使用可能 日 数	使用日数	日数使用率 (%)	使用可能 単位数	使用単位数	単位使用率 (%)	収入額(円)
大 研 修 室	343	174	50.7%	926	347	37.5%	9,533,150
小 研 修 室	343	115	33.5%	926	178	19.2%	645,150
第 1 研 修 室	343	197	57.4%	926	369	39.8%	3,824,150
第 2 研 修 室	343	175	51.0%	926	316	34.1%	2,893,110
第 3 研 修 室	343	230	67.1%	926	560	60.5%	3,013,560
第 5 研 修 室	343	245	71.4%	926	485	52.4%	4,071,540
第 6 研 修 室	343	222	64.7%	926	584	63.1%	2,382,820
和 室 等	-		-	-	1,106	-	3,866,500
合 計	2,401	1,358	56.6%	6,482	3,945	60.9%	30,229,980

2. 体育館

室 名	使用可能 日 数	使用日数	日数使用率 (%)	使用可能 単位数	使用単位数	単位使用率 (%)	収入額(円)
体育館	343	331	96.5%	3,720	1,973	53.0%	2,503,930

令和6年度 月別利用状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	構成比
研修室利用	営業単位数	553	525	560	574	567	504	588	546	511	497	518	539	6,482	—
	青少年	56	49	38	52	52	60	68	67	57	54	47	51	651	16.5%
	一般	222	293	325	282	206	233	347	302	281	281	258	264	3,294	83.5%
	計	278	342	363	334	258	293	415	369	338	335	305	315	3,945	100.0%
体育館利用	利用率(%)	50.3%	65.1%	64.8%	58.2%	45.5%	58.1%	70.6%	67.6%	66.1%	67.4%	58.9%	58.4%	60.9%	—
	営業時間数	316	300	320	328	324	288	336	312	292	284	296	324	3,720	—
	青少年	112	110	121	137	146	107	183	114	127	68	138	176	1,539	78.0%
	一般	28	25	61	43	47	48	28	46	29	15	36	28	434	22.0%
利用	計	140	135	182	180	193	155	211	160	156	83	174	204	1,973	100.0%
	利用率(%)	44.3%	45.0%	56.9%	54.9%	59.6%	53.8%	62.8%	51.3%	53.4%	29.2%	58.8%	63.0%	53.0%	—

(注) 4/29、5/3～6、7/15、8/12、9/2、16、23、11/4、12/29～1/4、3/11、20は休館日、土日祝日、12/27は17時までの営業

過去5か年利用者区分別 利用状況集計表

年 度 内訳	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比	
利用者区分	(件・時間・人)	(%)	(件・時間・人)	(%)	(件・時間・人)	(%)	(件・時間・人)	(%)	(件・時間・人)	(%)	
研修室利用	青少年	1,012	40.1%	903	34.4%	587	26.0%	639	25.2%	392	9.9%
	一 般	1,512	59.9%	1,719	65.6%	1,669	74.0%	1,898	74.8%	3,553	90.1%
	合 計	2,524	100.0%	2,622	100.0%	2,256	100.0%	2,537	100.0%	3,945	100.0%
	利用率(%) (利用件数/ 21件×稼働日) ※R4は18件※R5 以降は休館日あり	33.5%		34.8%		34.9%		38.2%		60.9%	
		(稼働日数360日)		(稼働日数359日)		(稼働日数359日)		(稼働日数355日)		(稼働日数343日)	
体育館利用	青少年	2,118	86.0%	2,580	84.8%	2,357	84.8%	1,880	82.6%	1,539	78.0%
	一 般	346	14.0%	461	15.2%	423	15.2%	396	17.4%	434	22.0%
	合 計	2,464	100.0%	3,041	100.0%	2,780	100.0%	2,276	100.0%	1,973	100.0%
	利用率(%) (利用時間数/ 12時間×稼働日) ※R5以降土日祝17 時まで、休館日あり	57.2%		70.6%		64.6%		58.6%		53.0%	
		動日数360日)	(稼働日数359日)		(稼働日数359日)		(稼働日数355日)		(稼働日数343日)		
宿泊利用	小・中学生	135	15.3%	50	13.1%	320	20.8%				
	青少年	372	42.1%	148	38.7%	868	56.5%				
	一 般	377	42.6%	184	48.2%	349	22.7%				
	合 計	884	100.0%	382	100.0%	1,537	100.0%				
	利用率(%) (利用人数/ 86人×稼働日) ※R4は81人	2.9%		1.3%		5.3%					
	(稼働日数359日)		(稼働日数358日)		(稼働日数358日)						

(備考) 宿泊利用の小・中学生には、幼児を含んでいます。R5以降宿泊休止

福島県男女共生センター事業実施状況

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

福島県男女共生センターでは、本県の男女共同参画の実現をめざす拠点施設として広く県民に利用されるよう機能の充実に努めるとともに、男女共同参画に関する様々な情報を発信する情報事業、男女の自立と社会参加を促進するための自立促進事業、自主的な交流を支援する交流関連事業などを実施しました。

1 管理運営事業

男女共同参画社会実現のための実践的活動拠点として、センターの3つの機能（情報機能、自立促進機能、交流機能）を十分発揮できるよう、効果的・効率的な施設の管理・運営に努めたほか、原子力災害により避難された方に対し、避難により困難になっている地域コミュニティ活動の維持や地域生活における絆を深める活動を支援するため、宿泊料助成を実施するなど、東日本大震災の被災地・被災者の支援に取り組みました。

また、多くの人々に親しまれ、利用しやすい施設を目指して、広報用リーフレットの配布及び研修室や宿泊室等施設設備の一部改修等の環境整備を行い、利用促進に努めました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した施設利用については、回復傾向は見られますが、引き続き広報等による利用促進を図る必要があります。

※令和6年度 施設利用状況 別紙のとおり

2 情報関連事業

男女共同参画についての情報、専門図書、資料などを収集・提供し、各種活動等を支援しました。

また、情報ネットワークの充実に努めるとともに、県外男女共同参画施設の協力を得て、県内外に広く情報を発信しました。

(1) 情報事業

①図書室運営

図書室において、男女共同参画社会形成の促進に寄与する図書や資料等約4万2千点を備え、閲覧及び貸出により利用に供しました。

内 容	・令和6年度来室者人数 18,388人 ・購入図書・資料の選定 令和6年度購入図書 143冊 ・図書・資料の収集、分類、整理並びに貸出、返却管理 図書貸出利用者数 延べ 1,425名 図書貸出冊数 延べ 3,677冊（うちDVD等5点） ・レファレンスサービス件数 延べ 911件
-----	--

②情報提供

センターの活動内容をはじめとする男女共同参画に関する情報を、ホームページ及びメールマガジン（月1回発行）により提供しました。

内 容	令和6年8月にホームページのリニューアルを行い、よりわかりやすい情報の発信に努めました。 ・センターホームページアクセス件数 延べ 138,335件 ・センターメールマガジン配信件数（月1回） 781件
-----	---

③広報活動

広報誌「未来館 NEWS」を発行し、男女共同参画の考え方やセンターの活動内容について紹介するとともに、県政広報その他各種媒体を活用し、普及啓発・周知を図りました。

内 容	広報誌「未来館 NEWS」第88号～90号発行 各5,000部 県内の図書館、公民館、高等学校、市町村担当課、各都道府県担当課、全国の男女共同参画施設及び各種関係団体などに送付
-----	---

(2) 調査研究事業

男女共同参画社会の形成を推進するため、現状を把握し、問題解決への道を探るための調査研究を行いました。

事業名	①地域課題調査・研究事業
内 容	県内の男女共同参画を推進するため、地域の課題の把握やその解決方法に関する調査・研究を公募し、実施しました。 テーマ：「福島県の未就学児を育てながら働く女性が健康的かつ主体的なキャリア形成を実現するための要因：インタビュー調査に基づく探索的研究」 研究代表者：福島大学キャリアセンターキャリアオフィサー/特任准教授 石井 由貴氏

3 自立促進事業

(1) 普及啓発事業

男女共同参画に関する講座や講演会などを開催し、男女平等に向けた意識変革をしながら男女が互いに個人として自立し、責任を担う力をつけて共に社会参画できるよう支援しました。

事業名	①未来館トークサロン
対象者	県内の学生
内 容	県内各地域において館長と県民が、地域の男女共同参画に関する課題について自由な雰囲気話し合い、課題の整理・共有をしました。 (1) 開催日：令和6年11月28日（木） 出席者：郡山女子大学短期大学部学生等 15名 会 場：郡山女子大学短期大学部 (2) 開催日：令和6年12月11日（水） 出席者：会津大学短期大学部学生等 20名 会 場：会津大学短期大学部

事業名	②男女間における暴力の防止と被害者支援事業
対象者	県民
内 容	県民を対象とし、社会的弱者になりがちな女性や子どもの暴力や虐待被害の予防を図るための啓発事業として、講演会を実施しました。 開催日：令和6年11月16日（土） 講 師：西山 さつき氏（NPO 法人レジリエンス代表理事） 内 容：講演会「DV/モラルハラスメントからの回復～レジリエンスとトラウマについて～」

	参加者：25名
--	---------

事業名	③ダイバーシティ理解促進事業
対象者	県民
内 容	性的マイノリティをテーマとして、多様性を認める社会の実現を目指し理解を深めるための講演会等を開催しました。 開催日：令和6年6月15日（土） 参加者：42名 テーマ：「地域における LGBTQ 支援」 登壇者：前川 直哉氏（福島大学教育推進機構准教授） 三戸 花菜子氏（いわき さんかく代表） たかはし氏（ふくしまコミュニティスペースよりみち） 内 容：①性の多様性に関する講義（前川氏） ②県内支援団体活動発表（三戸氏、たかはし氏） ③登壇者によるトークセッションと質疑応答

事業名	④市町村男女共同参画促進事業
対象者	県民
内 容	訪問相談等により地域の課題やニーズを把握し、その実情に応じた各種施策が実施されるよう支援しました。 （パネルの貸与等） 7市町村 （事業等に関する相談・支援等） 15町村

事業名	⑤キラっとさん活躍促進事業
対象者	県内の企業・団体等に勤める女性等、大学、短期大学、専門学生等の若い世代の県民
内 容	（1）キラっとさん育成塾 職場でリーダーや管理職を目指す女性の研修や交流の機会として、業務に役立つ講座を開催しました。 内容：「チームワークに欠かせないコミュニケーションスキルを身につける～積極的傾聴と言語化～」 全4回開催（連続講座）※第1～3回オンライン実施 講師：なかむら アサミ氏（サイボウズ株式会社） 第1回 令和6年9月13日（金） 参加者17名 「そもそもチームワークとは」 第2回 令和6年9月20日（金） 参加者19名 「話を聞く／聴く／訊くの違いを体験する」 第3回 令和6年9月27日（金） 参加者19名 「言葉で表現する力を身につける」 第4回 令和6年10月4日（金） 参加者16名 「コミュニケーション・ワークショップ＋交流会」

	(2) ライフデザインセミナー 本県の将来を担う若い世代である大学、短期大学、専門学校などの学生等を対象に、ライフステージごとの生き方、仕事と家庭生活の両立など「性別にとらわれない生き方・働き方」を選択できる能力を培うためのセミナーを開催しました。 ① 福島工業高等専門学校 開催日：令和6年11月7日（木） 参加者：都市システム工学科4年生 42名 内 容：「男女参画と事例紹介」 講 師：横尾 恵美氏（しゅふコミ代表） ② 福島大学 開催日：令和6年11月13日（水） 参加者：坂本恵教授担当英語クラス2年生 26名 内 容：「人生のハンドルを握り、自分の物語を描く」 講 師：鷲谷 恭子氏（株式会社ケイリーパートナーズ代表取締役COO） ③ 福島学院大学 開催日：令和6年11月20日（水） 参加者：地域マネジメント学科1年生 31名 内 容：「ワーク・ライフ・バランスと男女共同参画」 講 師：横田 智史氏（株式会社ペンギンエデュケーション代表取締役） ④ 今泉服飾専門学校 開催日：令和7年1月22日（水） 参加者：専門課程生全学年 19名 内 容：「人生のハンドルを握り、自分の物語を描く」 講 師：鷲谷 恭子氏（株式会社ケイリーパートナーズ代表取締役COO） ⑤ 郡山ヘアメイクカレッジ 開催日：令和7年2月27日（木） 参加者：美容科1年生 53名 内 容：「男女参画と事例紹介」 講 師：横尾 恵美氏（しゅふコミ代表）
--	---

事業名	⑥次世代スクールプロジェクト事業
対象者	県内小学生、中学生、高校生及び教育関係諸団体
内 容	県内小・中・高等学校及び教育関係諸団体と連携し、互いの性と人権を尊重することの大切さや自分らしさを発揮することの大切さを考えるための連携授業を実施しました。 （実施校・団体数28校・団体、実施回数43回、参加者3,340人） ○連携授業 ※講師はセンター職員 （1）福島県立田村高等学校 開催日：令和6年4月8日（月）、10日（水） 参加者：2・3年生・教職員（223名）、1年生・教職員（159名）

内 容：多様な性

(2) 福島県教育センター

開催日：令和6年4月25日(木)、5月14日(火)

参加者：初任者(小・中・高等学校、養護教諭、栄養教諭) (327名)

内 容：男女共同参画と学校教育

(3) 福島県立平工業高等学校

開催日：令和6年5月30日(木)

参加者：1～3年生・教職員(601名)

内 容：男女共同参画、デートDV、多様な性

(4) 聖光学院高等学校

開催日：令和6年6月13日(木)

参加者：1年生・教職員(12名)

内 容：男女共同参画、多様な性

(5) 川俣町立川俣中学校

開催日：令和6年6月20日(木)

参加者：2年生・教職員(70名)

内 容：男女共同参画、多様な性

(6) 福島県立いわき光洋高等学校

開催日：令和6年6月24日(月)

参加者：教職員(4名)

内 容：男女共同参画、多様な性

(7) いわき市立豊間小学校

開催日：令和6年6月24日(月)

参加者：3～6年生・教職員、保護者(115名)

内 容：多様な性

(8) 本宮市立白沢中学校

開催日：令和6年7月3日(水)

参加者：3年生・教職員(56名)

内 容：多様な性

(9) いわき市立小名浜第二中学校

開催日：令和6年7月5日(金)

参加者：1～3年生・教職員(182名)

内 容：多様な性

(10) 福島県立安達高等学校

開催日：令和6年7月9日(火)～11日(木)、12月11日(水)・
12日(木)

参加者：1年生・教職員(142名)、2年生・教職員(136名)

内 容：男女共同参画、性別にとらわれない職業選択

(11) 本宮市立本宮第二中学校

開催日：令和6年7月10日(水)

参加者：3年生・教職員(103名)

内 容：男女共同参画、多様な性

(12) 福島市学校給食研究会栄養士部会

開催日：令和6年7月23日(火)

	参加者：福島市学校栄養士（２６名） 内 容：ハラスメント、多様な性 （１３）昭和村立昭和中学校 開催日：令和６年８月２７日（火） 参加者：教職員（７名） 内 容：男女共同参画と学校教育 （１４）福島県高等学校教頭会県南支部 開催日：令和６年１１月７日（木） 参加者：県南地区県立高等学校教頭（４５名） 内 容：多様な性 （１５）会津若松人権擁護委員協議会 開催日：令和６年１１月１２日（火） 参加者：人権擁護委員（１８名） 内 容：多様な性（人権教室でどう伝えるか） （１６）いわき市立磐崎中学校 開催日：令和６年１１月１４日（木） 参加者：１年生・教職員（１０８名） 内 容：多様な性 （１７）福島県学校保健会養護教諭部会役員会 開催日：令和６年１１月２０日（水） 参加者：養護教諭（３１名） 内 容：多様な性 （１８）福島市立瀬上小学校 開催日：令和６年１１月２７日（水） 参加者：教職員（１６名） 内 容：多様な性 （１９）（株）福島県人材派遣センター 開催日：令和６年１２月４日（水） 参加者：高等学校派遣進路アドバイザー（１９名） 内 容：多様な性（就業における困難） （２０）福島県立会津工業高等学校 開催日：令和６年１２月５日（木） 参加者：３年生・教職員（１７６名） 内 容：ハラスメント （２１）福島県立白河実業高等学校 開催日：令和６年１２月１２日（木） 参加者：１年生・教職員（１４８名） 内 容：多様な性 （２２）小野町立小野中学校 開催日：令和６年１２月２０日（金） 参加者：１年生・教職員（７７名） 内 容：多様な性 （２３）福島市立野田小学校 開催日：令和７年１月２４日（金）
--	---

	参加者：5年生・教職員（109名） 内 容：多様な性 （24）福島県立二本松実業高等学校 開催日：令和7年1月28日（火）、2月4日（火） 参加者：1年生・教職員（134名） 内 容：多様な性 （25）いわき市立小名浜東小学校 開催日：令和7年2月14日（金） 参加者：教職員（22名） 内 容：多様な性 （26）二本松市立安達太良小学校 開催日：令和7年3月7日（金） 参加者：6年生・教職員（8名） 内 容：性別にとらわれない職業選択 （27）福島市立福島第二中学校 開催日：令和7年3月17日（月） 参加者：2年生・教職員（48名） 内 容：多様な性 （28）福島県立福島工業高等学校 開催日：令和7年3月17日（月）、18日（火） 参加者：2年生・教職員（218名） 内 容：男女共同参画、多様な性
--	---

事業名	⑦交流室ロッカー・交流展示スペース管理・運営
対象者	県民
内 容	男女共同参画社会の推進を目的とした活動を行う団体等に、ロッカーと活動の成果品を展示する場の貸し出しの他に、男女共同参画推進を目的とした広報物の展示等を行いました。 ・交流室ロッカー貸出件数 4件 ・交流展示スペース貸出件数（延べ） 5件

事業名	⑧男女共同参画週間パネル展 ※自主
対象者	県民
内 容	男女共同参画週間（6月23日～6月29日）に併せて、「男女共同・多様性から考える防災」をテーマにパネル展示をしました。災害時の防災バックや避難の経路等を確認する内容のパネル（制作：ico.氏（イラストレーター））や、多様性を尊重した避難所となるための啓発パネルの展示を行いました。 開催日：令和6年6月23日（日）～6月29日（土）

事業名	⑨困難や不安を抱える女性のつながりサポート事業
対象者	生活に困難や不安を抱える女性
内 容	生活に困難や不安を抱える女性が社会との絆やつながりを回復できるよ

	う、相談の拡大実施と支援体制の強化を図りました。 (1) 男女共生センター相談の拡大実施 ①専門相談「生活設計相談」(3回) ②専門相談「法律相談」(1回) 専門相談「女性のためのカウンセリング」(1回) (2) NPO 等団体による支援の実施 NPO 等団体に委託し、電話相談、居場所の提供、出張相談、訪問相談、生理用品等の提供を行いました。 相談件数：2, 525件 ※当センター相談件数も含む (委託団体) ・社会福祉法人福島敬香会(県北) ・NPO 法人しんぐるぺあれんと F・福島(県中) ・KAKECOMI(県南) ・NPO 法人寺子屋方丈舎(会津) ・NPO 法人あさがお(相双) ・NPO 法人 Commune with 助産師(いわき) (3) 生理用品の提供 男女共生センター及び青少年会館の女性トイレに生理用品を配置するとともに、生活に不安や困難を抱える女性等に男女共生センター相談室・福祉機器展示室・受付、チャレンジ支援相談コーナー(郡山・会津・いわき相談コーナー)、青少年会館において生理用品を配布しました。 また、子ども食堂や大学等を通じて生理用品を配布しました。 (4) 相談員等研修会 女性の支援に関わる相談員等が、女性に寄り添った相談を行うための研修会を開催しました。 ○第1回 開催日：令和6年9月20日(金) 参加者：12名 内容：生きづらい女性を支援するための傾聴スキルを学ぶ 講師：安部 郁子氏(福島大学大学院人間発達研究科特任教授) ○第2回 開催日：令和6年10月25日(金) 参加者：15名 内容：精神疾患等困難を抱えた女性への相談対応 講師：安部 郁子氏(福島大学大学院人間発達研究科特任教授)
--	--

(2) 研修事業

男女共にその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会に向け、家庭や仕事、地域活動などの生活のあらゆる場面においてその実現を阻害する固定的性別役割分担意識を解消するための事業や、男女のライフスタイルや社会情勢の変化に伴い多様化する課題・ニーズに合わせ個人が自発的に課題解決を図ることができるようにエンパワーメントする事業を開催しました。

事業名	①未来館エンパワーメント塾
対象者	アラフォー以降の女性

内 容	マチュア世代（マチュア＝シニアより若く、成熟した大人の女性に多く使われる言葉）の女性が、自己肯定感を持ち、自分を大切にしながら社会で活躍し続けることができるよう、エンパワーするためのセミナーを開催しました。 「大人女子のごほうびセミナー」※3回連続講座 ○第1回 ※オンライン実施 開催日：令和7年1月25日（土） 参加者：17名 内 容：「自己肯定感をあげる心のトレーニング」 講 師：丹羽 麻子氏（男女共同参画センター横浜相談センター長） ○第2回 ※オンライン実施 開催日：令和7年2月8日（土） 参加者：14名 内 容：「後悔しないためのセカンドキャリアの作り方」 講 師：西村 美奈子氏（㈱ネクスト・ストーリー代表取締役） ○第3回 ※対面実施 開催日：令和7年2月22日（土） 参加者：14名 内 容：「冷えからわたしをまもる骨盤底筋ケア」 講 師：大河原 里美氏（日本コンディショニング協会認定、日本マタニティビクス協会認定メノポーズケアエクササイズ）
-----	--

事業名	②ワーク・ライフ・バランス実践講座
対象者	県内企業の管理職、社員、県民
内 容	「イクボス講座実践編」 県内の企業・団体等に赴き、ワーク・ライフ・バランスやイクボス、女性活躍等の実践事例等を学ぶセミナーを開催しました。 内 容： ○講義 ワーク・ライフ・バランスやイクボスに関する基本的な考え方やその必要性とメリット、職場作り等に関する講義 講師：横田 智史氏（株式会社ペンギンエデュケーション代表取締役） ○ワークショップ 職場の雰囲気や組織風土についての課題を抽出、解決案を検討 (1) 堀江工業株式会社 開催日：令和6年5月30日（木） 参加者：社員及び協力会員会社員等 137名 (2) (一社) 福島県空調衛生工事業協会 開催日：令和6年11月19日（火） 参加者：会員企業の経営者・役員等 21名 (3) 東北アンリツ株式会社 開催日：令和6年12月18日（水） 参加者：職長・グループリーダーの社員 20名

事業名	③教師のためのジェンダー平等推進セミナー
対象者	県内の教職員、教育事務所並びに市町村教育委員会・男女共同参画推進部局の関係者、教職過程を履修している大学生
内 容	教職員等を対象とし、人権や男女共同参画の正しい認識を深めるとともに、児童生徒への指導実践に資する講座を開催しました。 開催日：令和6年8月7日（水） ※対面・オンライン実施 参加者：28名（対面：9名、オンライン：19名） 内 容 ○講義「学校教育とジェンダー平等」 講師：センター職員 ○講演 演題：「多様な性と私たち SOGI インクルーシブな学校環境づくりのために」 講師：三戸 花菜子氏（認定 NPO 法人 ReBit キャリア事業部マネージャー） ○グループトーク 「聞いてみたい！どうする？うちの学校」 ※福島県教育委員会との共催事業として開催

事業名	④研修講師派遣事業
対象者	県民
内 容	市町村や企業、団体等が実施する男女共同参画を推進する研修及び学習会等に当センター職員等を派遣するほか、外部講師の情報提供を行い、地域における男女共同参画社会実現に向けた取組を支援しました。 （1）職員派遣 派遣回数：12回（参加者数：330名） （2）アドバイザー派遣 派遣回数：5回（参加者数：413名）

事業名	⑤市町村男女共同参画担当者研修
対象者	市町村担当者
内 容	（1）市町村男女共同参画担当者研修 開催日：令和6年6月7日（金） 参加者：30名（22市町村29名、地方振興局1名） 内 容： ○開会あいさつ 中村 英康氏（県生活環境部男女共生課課長） ○講義「男女共同参画社会って何？」 講師：千葉 悦子（福島県男女共生センター館長） ○福島県男女共生課からのお知らせ 担当：岡部 聡氏（県生活環境部男女共生課主査） ○福島県男女共生センターからのお知らせ 担当：センター職員 ○事例発表「会津美里町の男女共同参画の取組みについて」 発表者：井島 慶太郎氏（会津美里町政策財政課）

	○意見交換 (2) 市町村男女共同参画担当者会議 開催日：令和7年2月14日（金）※オンライン実施 参加者：32名（26市町村28名、地方振興局2名、男女共同参画センター2名） 内 容： ○講演「地方のジェンダーギャップ解消～女性に選ばれる地方に向けて～」 講師：小安 美和氏（株式会社 WILL LAB 代表取締役） ○福島県男女共生課からのお知らせ 担当：岡部 聡氏（県生活環境部男女共生課主査） ○福島県男女共生センターからのお知らせ 担当：センター職員 ○意見交換
--	--

事業名	⑥復興・防災と男女共同参画に関する人材育成事業
対象者	自治体職員、社会福祉協議会職員
内 容	「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」（※共に内閣府男女共同参画局作成）や避難所運営シミュレーションツール「さすけなぶる」（※福島大学うつくしまふくしま未来支援センター作成）を用いて、地域における復興・防災における男女共同参画の推進を担う人材育成研修を行いました。 開催日：令和6年10月22日（火） 参加者：10名（5市町村7名、1振興局（相双）1名、県災害対策課1名、県南保健福祉事務所1） 内 容： ・講義「復興防災における男女共同参画・多様性の視点の必要性」 担当：センター職員 ・グループワーク「さすけなぶる」 講師：北村 育美氏（福島大学地域未来デザインセンター客員研究員）

事業名	⑦福島の未来を担う女性リーダー育成事業
対象者	地域づくりなどに関わる女性
内 容	魅力ある「ふくしま」づくりを牽引する女性の人材育成を目的とし、地域づくり等の活動を進める上で効果的なスキルを共に学ぶ研修を実施しました。 「女性のための未来チャレンジ塾」 ○第1回 開催日：令和7年2月20日（木） 参加者：10名 内 容：「活動を軌道にのせるための資金調達&活用講座」 講 師：横尾 恵美氏（しゅふコミ代表） 渡辺 明美氏（一般社団法人アイプロデュース代表理事）

	橋本 千佳氏（福島県信用保証協会女性支援チーム雪うさぎ） ○第2回 ※オンライン実施 開催日：令和7年2月27日（木） 参加者：13名 内 容：「自分らしく発信！Instagram 活用講座」 講 師：佐藤 恵美氏（一般社団法人地域おこし協力隊活動推進協会代表理事）
--	---

（3）相談事業

男女が自立し、生き生きとして生きがいのある人生を送ることができるよう、日常生活から生じる様々な問題や悩みに関する相談や、配偶者からの暴力（ドメスティックバイオレンス）に関する相談及びこれらに関する情報提供を行いました。

事業名	①一般相談
対象者	県民
内 容	性別にとらわれず生き生きと生きていくために、広く生活全般に係る相談を行いました。 相談内容：広く生活全般に関する相談 配偶者等からの暴力に関する相談 男性相談員による相談 相談方法：電話・面接 相 談 員：男女共生相談員（嘱託職員）3名、男性相談員1名 相談件数：1, 452件

事業名	②専門相談
対象者	県民 ※カウンセリングは女性限定
内 容	法律問題や健康に関することについて、専門家による相談を行いました。 相談内容：法律相談（月1回、2時間）相談件数 42件 健康相談「女性による女性のためのカウンセリング」（月2回、各回一人1時間程度） 相談件数 20件 女性のための生活設計相談（年3回）相談件数 3件 相談方法：面接（予約制） 相 談 員：法律相談 弁護士 健康相談（カウンセリング） 女性臨床心理士 生活設計相談 ファイナンシャルプランナー

事業名	③チャレンジ支援相談
対象者	内職や就業（再就職）を希望する女性等
内 容	内職希望者からの相談や内職求人受付、あっせんのほか、女性の就業援助に関する相談、情報提供を行いました。 相談方法：電話・面接 相 談 員：女性就業援助相談員（嘱託職員） ※配置個所 男女共生センター及び県内3ヶ所（郡山、会津若松、いわき）

	の県地方振興局内)に相談コーナーを設置 相談件数：1,015件 内職あつせん者数：137名
--	---

(4) 介護実習・普及センター事業

高齢者介護の実習等を通じて、地域住民への基礎知識、介護技術の普及を図るとともに、「高齢化社会は国民全体で支えるもの」という考え方を地域住民に広く啓発する事業を実施するほか、福祉用具の展示並びに住宅改修を含めた相談体制の整備等を行いました。

事業名	①介護実習・普及事業
対象者	県民、介護専門職員
内 容	介護の実習等を通じて、県民への介護知識、介護技術の普及を図るため、社会福祉法人福島県社会福祉協議会に業務を委託して各種講座等を実施しました。 (1) 県民介護講座等の実施 初級介護講座、介護ワンポイント講座、介護実技基本講座、オーダーメイド介護講座、認知症サポーターキャラバン関連研修 実施講座数：43回、43日 参加者数：1,134名 (2) 地域介護専門職員研修の実施（介護専門職員を対象） 企画力アップ研修、相談援助面接研修、福祉用具・住宅改修研修、排泄ケア研修、ピンポイント介護技術研修、福祉施設職員のためのコミュニケーション向上研修 実施講座数：17回、26日 参加者数：291名 (3) 介護セミナー 「誰に聞いたらいいのかわからない 介護保険の基本的なこと」 開催日：令和7年3月8日（土） 参加者数：41名 (4) 福島県介護研修事業検討委員会の開催 開催日：令和6年12月13日（金）

事業名	②福祉用具・住宅改修普及支援事業
対象者	県民
内 容	(1) 福祉機器展示室の運営 福祉機器展示室において、各種用具を展示するとともに、福祉機器企画相談員（嘱託職員2名）を配置し、一般県民からの福祉用具・住宅改修に関する相談を受け、助言指導を行いました。 来所者数：2,875名 相談件数：136件（相談内容件数195件） 相談内容：パーソナルケア関連（40件）、移動機器（29件） (2) 福祉用具・住宅改修普及支援協議会の開催 福祉用具・住宅改修の普及事業の円滑な実施を図るため、理学療法士、作業療法士、建築士、福祉用具取扱業者、行政関係者からなる協議会を開催し、優良な機器の選考・展示方法及び住宅改修相談等について検討を行

	いました。 開催日：令和6年12月13日（金）
--	---------------------------------------

4 交流関連事業

(1) 交流関連事業

県民が、主体的に男女共同参画についての問題に取り組む実践的活動拠点としての機能を発揮するため、自主的な交流の場として男女共生センターを提供するとともに、男女の平等と自立を目指す個人や様々な団体・グループ間の相互交流を促進するための事業を実施しました。

事業名	①未来館フェスティバル
対象者	県民
内 容	男女共同参画社会の意識啓発を図るとともに、県民相互の交流を促進するため、未来館フェスティバルを開催しました。 開催日：令和6年9月8日（日） 参加者：延べ1,800名 (1) シンボルイベント 内 容：講演「それは恋愛のいざこざ？それともジェンダーの呪縛？ ～恋バナからひもとくジェンダー入門～」 講 師：清田 隆之氏（文筆業、恋バナ収集ユニット「桃山商事」代表） 参加者：110名 (2) 県民参加企画 内 容：県民が自主的に企画・運営を行った活動紹介、パネルディスカッション、ワークショップ、パネル展示等 参加数：23企画（県民参加企画）、3企画（センター企画） (3) 交流会 内 容：県内の団体、自治体職員による情報交換、交流 参加者：26名

事業名	②ユースと考える男女共生交流事業
対象者	県内の16歳以上30歳未満のユース世代
内 容	若年世代とともに、男女共同参画を推進するための課題について、事例発表や意見交換等を実施することで交流を図りながら考える機会を提供しました。 「10代・20代で話そう ジェンダー平等おしゃべりカフェ」 内 容：講師の専門分野の話の後、参加者が感じていること、思っていることを共有するという2部制で行いました。 (1) 対面実施 開催日：令和6年12月21日（土） 講 師：鴻巣 麻里香氏（ソーシャルワーカー・KAKECOMI 代表） 会 場：福島市男女共同参画センター「ウィズ・もとまち」 参加者：11名（10代1名、20代10名） (2) オンライン実施 開催日：令和7年1月22日（水） 講 師：櫻井 彩乃氏（一般社団法人 GENCOURAGE 代表理事）

	参加者：7名（10代2名、20代5名）
--	---------------------

事業名	③男女共同参画推進活動支援事業
対象者	県内で活動中または活動予定のグループや団体、個人
内容	「男女共生を進めるための県民企画支援事業」 県内で活動する団体や個人等が自主的に企画・実施する講座やワークショップ等を公募して、センターが企画や広報の協力、会場の提供等の支援を行いました。 採択件数：10件 採択企画： (1) 「ふくしまレインボーマーチ事前交流会」 (ふくしまレインボーマーチ) (2) 「4歳からが伝えどき幼児期からのおうち性共育のはじめかた」 (保健師 三浦 実子氏) (3) 「ママ・パパのための子育て支援講座」 (保育士・ペアレントトレーニングトレーナー 中村 浩美氏) (4) 「もう待てない！私たちの手にパートナーシップ制度を」 (ダイバーシティふくしま) (5) 「パパとお子様と一緒に作ろう！グルテンフリーの米粉のおやつ」 (みなみなミライ須賀川) (6) 「自分らしく映える SNS 画像づくりを学ぼう！」 (みなみなミライ須賀川) (7) 「気軽に×誰でも 創業相談ウィーク in 東北」 (東北創業支援センター) (8) 「輝く女性を見つけよう！意見発表会」 (福島県国際女性教育振興会) (9) 「女性行政書士による女性のための無料相談会」 (福島県行政書士会) (10) 「10代～23歳までの LGBT のための居場所 にじーず郡山」 (にじーず郡山)

福島県男女共生センター施設利用状況

		日数基準		区分(定員)基準		収入額(円)	前年比 (円、%)
		可能室数	使用室数	可能区分数	使用区分数		
令和6年4月	研修室	275 室 前年比 108.3 %	91 室 33.1 %	781 室 前年比 109.5 %	138 室 17.7 %	266,600	89,100 150.2%
	宿泊室	462 室 前年比 117.5 %	114 室 24.7 %	1,050 人 前年比 125.8 %	166 人 15.8 %	471,600	111,800 131.1%
令和6年5月	研修室	297 室 前年比 93.0 %	93 室 31.3 %	847 室 前年比 90.2 %	156 室 18.4 %	247,070	-59,530 80.6%
	宿泊室	506 室 前年比 51.7 %	107 室 21.1 %	1,150 人 前年比 56.3 %	166 人 14.4 %	678,400	-509,900 57.1%
令和6年6月	研修室	286 室 前年比 89.9 %	116 室 40.6 %	814 室 前年比 88.4 %	213 室 26.2 %	373,500	-53,200 87.5%
	宿泊室	484 室 前年比 86.4 %	153 室 31.6 %	1,100 人 前年比 98.1 %	206 人 18.7 %	793,100	-9,400 98.8%
令和6年7月	研修室	286 室 前年比 107.6 %	127 室 44.4 %	814 室 前年比 107.7 %	237 室 29.1 %	423,680	-115,560 78.6%
	宿泊室	484 室 前年比 100.0 %	125 室 25.8 %	1,100 人 前年比 102.8 %	181 人 16.5 %	736,700	-8,900 98.8%
令和6年8月	研修室	297 室 前年比 100.0 %	117 室 39.4 %	847 室 前年比 92.1 %	211 室 24.9 %	417,240	61,480 117.3%
	宿泊室	506 室 前年比 104.9 %	214 室 42.3 %	1,150 人 前年比 117.6 %	314 人 27.3 %	1,109,400	355,900 147.2%
令和6年9月	研修室	275 室 前年比 125.2 %	169 室 61.5 %	770 室 前年比 140.2 %	380 室 49.4 %	654,850	238,490 157.3%
	宿泊室	440 室 前年比 184.0 %	195 室 44.3 %	1,000 人 前年比 157.2 %	239 人 23.9 %	901,600	2,800 100.3%
令和6年10月	研修室	272 室 前年比 114.7 %	125 室 46.0 %	776 室 前年比 110.6 %	220 室 28.4 %	279,450	35,950 114.8%
	宿泊室	506 室 前年比 116.8 %	153 室 30.2 %	1,150 人 前年比 119.1 %	231 人 20.1 %	906,900	125,700 116.1%
令和6年11月	研修室	260 室 前年比 96.9 %	124 室 47.7 %	740 室 前年比 88.6 %	209 室 28.2 %	250,150	-20,490 92.4%
	宿泊室	484 室 前年比 93.7 %	177 室 36.6 %	1,100 人 前年比 96.2 %	252 人 22.9 %	848,300	-33,600 96.2%
令和6年12月	研修室	241 室 前年比 91.9 %	102 室 42.3 %	673 室 前年比 91.1 %	173 室 25.7 %	244,900	-203,020 54.7%
	宿泊室	418 室 前年比 96.2 %	75 室 17.9 %	950 人 前年比 121.6 %	124 人 13.1 %	672,600	78,200 113.2%
令和7年1月	研修室	240 室 前年比 113.6 %	100 室 41.7 %	680 室 前年比 104.5 %	162 室 23.8 %	207,000	-63,140 76.6%
	宿泊室	440 室 前年比 56.1 %	60 室 13.6 %	1,000 人 前年比 61.9 %	83 人 8.3 %	185,200	-80,600 69.7%
令和7年2月	研修室	240 室 前年比 102.9 %	108 室 45.0 %	680 室 前年比 104.0 %	182 室 26.8 %	231,600	-159,740 59.2%
	宿泊室	440 室 前年比 91.3 %	63 室 14.3 %	1,000 人 前年比 106.5 %	98 人 9.8 %	423,600	-91,400 82.3%
令和7年3月	研修室	260 室 前年比 87.4 %	90 室 34.6 %	730 室 前年比 83.4 %	136 室 18.6 %	164,200	-116,820 58.4%
	宿泊室	462 室 前年比 71.3 %	67 室 14.5 %	1,050 人 前年比 75.0 %	102 人 9.7 %	511,400	-77,800 86.8%
合計	研修室	3,229 室 前年比 102.6 %	1,362 室 42.2 %	9,152 室 前年比 101.6 %	2,417 室 26.4 %	3,760,240	-366,480 91.1%
	宿泊室	5,632 室 前年比 94.9 %	1,503 室 26.7 %	12,800 人 前年比 100.5 %	2,162 人 16.9 %	8,238,800	-137,200 98.4%
※ 宿泊人数は、6歳未満の幼児が寝具を使用しないで宿泊した人数を除く。					収入計	11,999,040	-503,680 96.0%

(事業報告付表2)

福島県男女共生センター利用状況

1 研修室

施設名	令和6年度					令和5年度				
	使用可能 日数	使用日数	日数使用率 (%)	使用可能 単位数	使用単位数	単位使用率 (%)	使用可能 単位数	使用単位数	単位使用 率 (%)	
研修ホール	159	38	23.9	452	86	19.0				
多目的研修室	307	169	55.0	870	264	30.3				
特別会議室	307	66	21.5	870	110	12.6				
第1研修室	307	173	56.4	870	272	31.3				
第2研修室	307	158	51.5	870	323	37.1				
第3研修室	307	187	60.9	870	351	40.3				
第4研修室	307	199	64.8	870	351	40.3				
第5研修室	307	213	69.4	870	394	45.3				
調理室	307	38	12.4	870	62	7.1				
工作室	307	74	24.1	870	116	13.3				
研修用和室	307	47	15.3	870	88	10.1				
合計	3,229	1,362	42.2	9,152	2,417	26.4				

令和6年度					令和5年度				
使用可能 日数	使用日数	日数使用率 (%)	使用可能 単位数	使用単位数	単位使用率 (%)	使用可能 単位数	使用単位数	単位使用 率 (%)	
309	68	22.0	876	137	15.6				
309	157	50.8	876	256	29.2				
309	59	19.1	876	87	9.9				
309	155	50.2	876	240	27.4				
309	162	52.4	876	327	37.3				
309	166	53.7	876	324	37.0				
309	168	54.4	876	296	33.8				
309	196	63.4	876	380	43.4				
309	46	14.9	876	67	7.6				
309	79	25.6	876	132	15.1				
309	71	23.0	876	132	15.1				
3,399	1,327	39.0	9,636	2,378	24.7				

2 宿泊室

施設名	使用可能 部屋数	使用部屋数	使用率(%)	使用可能 人数	使用人数	使用率(%)
	5,632	1,503	26.7	12,800	2,162	16.9

使用可能 部屋数	使用部屋数	使用率(%)	使用可能 人数	使用人数	使用率(%)
5,676	1,584	27.9	12,900	2,152	16.7